

個別施設計画

策定年月 H31.1

施設名	食肉衛生検査所		所在地	津山市国分寺120-1	
敷地面積	1,416.00 m ²		棟数	3 棟（計画記載対象 1 棟）	
延床面積	370.97 m ²			※対象は200m ² 以上の建物（車庫、倉庫等）は500m ² 以上 ※公舎・寮は全て対象	
設置目的	と畜場法及び食品衛生法に基づく食肉の検査、食鳥検査法に基づく食鳥処理場の衛生指導を行う事務所				
【想定される自然災害】					
予想震度 5強		津波 —		浸水 —	
建築規制	都市計画区域外				
エネルギー使用量 （2017年度）	電気 28,336 kwh	ガス 60 m ³	水道 264 m ³	燃料（灯油） — ℓ	
管理上の 特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし				

1 施設内建物の概況

名 称	本館		
築年(西暦)	1995 年	年	年
構 造	鉄筋コンクリート 造 1 階	造 階	造 階
建築面積	307.25 m ²	m ²	m ²
延床面積	307.25 m ²	m ²	m ²
主要な用途 (室名等)	事務室 1室・所長室 1室 検査室4室、暗室1室 無菌室1室、滅菌室1室		
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備 給排水設備		
利用状況	高		
耐震性 ※1	有		
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 中性化 ※3		
長期使用の適否	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし		

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強〜7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物については、修繕・改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
本館	・設備等の定期更新を行う。

3. 施設全体のスケジュール

(概 要)

老朽化の進んだ設備については、修繕・改修を行い、使用を継続する。

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
本館	設備等の定期更新(修繕・改修を含む)									照明 LED	

4. 概算費用

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R7.1	本館の設備等の定期更新(照明のLED化)を追加